

森林資源生産学特論 (2単位)

担当者氏名 上原 巖・今富裕樹・菅原 泉

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

森林の育成から伐採搬出までの総合的な研究能力を養うことを目的に、森林を育成する手法(天然更新および人工更新)における樹木生理、森林生態、森林立地、また生物多様性の重要性を理解し、さらに、森林の伐採、搬出に必要な基盤である林道・作業道や林業機械について学習する。現在における日本の森林・林業の課題やその解決法の考察、諸外国の森林・林業との比較等も行い、資料には英文・独文誌も利用し、あわせて森林専門分野における語学能力も高める。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

森林立地 造林 樹木生理 林業工学
森林機械 森林作業システム 森林資源

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	森林資源生産とは	森林資源生産の重要性について	育林と伐採搬出に関する技術及びそれらをシステム化した一連の森林資源の生産技術を修得する。上原・菅原が森林の更新から森林施業までの造林関係を、今富が森林の基盤整備としての林道・作業道の機能や施工技術、機械作業を担当する。共に関連するテーマについてはリンクしながら行う。
2	森林の成立と構造 (第2～4週)	森林の立地環境、森林生態、林木の成育・生理特性、動植物の多様性保全を学ぶ。	
3	森林の育成と保育 (第5～7週)	人工・天然更新技術を学び、植栽から保育、成林、更新に至る持続的管理のための造林技術を修得する。	
4	林道・作業道の機能と施工 (第8～10週)	林道・作業道の機能と配置と評価、及び施工技術を修得する。	
5	森林機械の作業システム (第11～13週)	伐採搬出の各種技術、及び効率的で安全性の高い森林機械システムを修得する。	
6	森林施業と労働災害防止 (第14週)	森林資源の生産に当たって生じやすい労働災害とその防止策を修得する。	
7	森林資源生産のシステム (第15週)	更新から育成、伐採、搬出と森林資源を生産する安全で効率的な一連のシステムを考察する。	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)
指導教授により、適宜、周知する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)
指導教授により、適宜、周知する。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

課題レポート、プレゼンテーション等により評価を行う。

◆オフィスアワー

毎週金曜日の16時以降、各研究室で質問等を受け付ける

◆その他受講上の注意事項

自ら進んで学び、新たなシステムを構築するという自主的、自律的な態度で臨むこと